

港湾振興便り



2015. 7
第98号

*:

目次

*:

1 ポートエッセイ

—G7閣僚会合にも地方創生の視点 新潟は農相会合で食をアピール—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

- クルーズ客船に高校生特別招待 ～長年に渡る「おもてなし」へのご褒美～
(函館市 港湾空港部 港湾空港振興課)
- 種差海岸観光まつり開催！
(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)
- 第34回 横浜開港祭へ参加しました！
(関東地方整備局 京浜港湾事務所・千葉港湾事務所)
- 「第8回 大阪湾生き物一斉調査」が開催されました
(近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所)

3 お知らせ

*:

1 ポートエッセイ

－ G 7 閣僚会合にも地方創生の視点 新潟は農相会合で食をアピール－

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

来年5月に三重県伊勢市で開催されるG7サミット首脳会合(伊勢志摩サミット)に併せて開催される閣僚会合の開催地が決まった。発表した菅官房長官は「開催地決定に当たっては地方創生の観点も重視した」と述べた。

確かに開催地を見ると首脳会合や閣僚会合を希望していた都市が選定されず、表立っては手を挙げていなかった富山市が環境大臣会合、倉敷市が教育大臣会合に選ばれるなどの事例が目についた。富山市と倉敷市は安倍政権の掲げる「コンパクトシティ」や「地方創生総合戦略づくり」に熱心な地域だ。

わが地元の新潟市では農相会合の開催を決定いただいた。これも大農業都市である新潟市の実績への評価というよりは、農業分野で国家戦略特区に選定されたことが大きかったようだ。「特区プロジェクトが軌道に乗るよう努力している」ことを菅官房長官も林農林水産大臣も選定の理由に挙げていた。このような選考結果を見ると、安倍政権の「地方創生を何が何でも成功させる」との並々ならぬ意志を感じる。政権も地方活性化の結果を出そうと必死なのだろう。

新潟ではそんな政権の意思を感じつつ、「特区効果」で選定いただいた農相会合の「効果」を最大限引き出すよう努めていきたい。新潟の誇る「食と農」を世界にアピールする最大の機会を活かすよう、地域挙げて取り組んでいきたい。

地方創生を具体化する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の作成作業も多くの地域で佳境を迎える。われわれは港湾の重要性を土台にしつつ、金太郎飴にならないよう、しっかり地域特性を踏まえて実効性のある総合戦略に仕上げていくことが重要だ。

*:

2 トピック

*:

● クルーズ客船に高校生特別招待 ～長年に渡る「おもてなし」へのご褒美～

(函館市 港湾空港部 港湾空港振興課)

米国プリンセス・クルーズが運航する大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」(115,906総トン)が6月16日、函館港に寄港しました。

函館港では、8年前から外国クルーズ客船寄港時に、市内の私立高校「遺愛女子高等学校」の生徒達が通訳ボランティアとして受入に参加していますが、明るく積極的な対応は「おもてなし」の精神に溢れており、帰国後のカナダ人の方からお礼のメールが届くなど、お客様から非常に高い評価を受けています。

プリンセス・クルーズに対しても、平成25年の「サン・プリンセス」(77,441総トン)初寄港以来、入港歓迎イベントや観光案内で協力してきましたが、これまでの取り組みを見てきた船社側の計らいにより、この日特別に船内見学に招かれました。生徒達は、初めて入る船内で、一度に数百人が利用可能なレストランやシアター、屋外の娯楽施設などに驚きの声を上げながら、夢のような時間を楽しみました。



(船内見学をする高校生)

● 種差海岸観光まつり開催！

(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)



(オープニングセレモニー)



(当事務所のブース也大賑わい)

平成27年7月12日、三陸復興国立公園に指定された種差海岸にて、第52回種差海岸観光まつりが開催されました。凧揚げ大会やよさこいソーラン、海産物販売会、花火大会など盛りだくさんのお祭りです。

八戸港湾・空港整備事務所が種差海岸観光まつりに参加するのは今年で3回目です。当事務所のブースでは、八戸港整備事業のパネル展や、地震による液状化体験装置を展示しました。

10時のオープニングを迎えると、大勢の来場者が当ブースへ立ち寄りました。なかなか見る機会のない昭和20年から現在までの八戸港の変遷や八戸港の役割、東日本大震災の災害復旧作業、八戸港整備事業についてのパネルを職員が説明し、港湾整備の重要性・必要性を改めて知って頂く良い機会になりました。

また、ブースの前面では液状化体験装置による実験を行いました。水を含んだ砂を入れた装置を揺らすことで地震を起こし、水が地面から噴き出す現象や模型が埋まったり浮き上がったりする現象を見て頂きました。装置を来場者の方に揺らして貰うことで更に液状化の仕組みを理解して頂いた様子でした。

● 第34回 横浜開港祭へ参加しました！

(関東地方整備局 京浜港湾事務所・千葉港湾事務所)

平成27年5月30日(土)、31日(日)、6月2日(火)、「横浜開港祭」が横浜市臨港パーク
他で開催されました。本イベントは「“Thanks to the Port” 市民が創り上げた国際港都 みんな
で祝おう誕生祭」というテーマの下、横浜市が市民への啓発活動として毎年開催しているものです。

当事務所も港湾及び海洋環境整備広報活動の一環として参加し、たかしまⅡによる横浜港内見学
会とテントに広報パネルを展示したブースを設け港湾及び海洋環境整備事業の重要性や事務所の
様々な活動の広報を行いました。

たかしまⅡの横浜港内見学会には合計約240名の市民が乗船、ブースには合計400名以上、
小さなお子様からご高齢の方まで幅広い世代の市民の方々が訪れ、興味深く話を聞いてくださる方
も多く、「港の役割が改めて良くわかりました」「南本牧の整備頑張ってください」「横浜市及び横
浜港の整備にはグローバルな視点が必要」といったエールを送ってくださる方もいました。展示ブ
ースは多くの人で賑わい、3日間大盛況に終わりました。

また、千葉港湾事務所の清掃兼油回収船「べいくりん」が官公庁艇パレードに参加し、ごみ回収
の実演等を行い、海洋清掃活動の広報を行いました。

3日間を通じて、多くの市民の方に港湾及び海洋環境整備事業の重要性を理解していただくことが
出来ました。

(大盛況の展示ブース前)



(見学者で賑わう展示ブース内)



(たかしまⅡ横浜港内見学会)



(観光庁艇パレードでのべいくりん)



● 「第8回 大阪湾生き物一斉調査」が開催されました

(近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所)

平成27年5月中旬から6月中旬にかけて、NPO等団体や市民の協力のもと、「第8回大阪湾生き物一斉調査」が開催されました。

今年は大阪湾沿岸24カ所で調査され、結果発表会を10月3日(土)に大阪市立自然史博物館で予定しています。

(「大阪湾生き物一斉調査ポータルサイト」 <http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>)



浜甲子園での調査の様子

(兵庫県西宮市)



堺2区生物共生型護岸での調査の様子

(大阪府堺市)

*:

3 お知らせ

*:

◇ 第62回 いわき花火大会

開催日 : 平成27年8月1日(土)

※ 延期の場合8月2日(日)

開催場所 : いわき小名浜みなとオアシス 小名浜港アクアマリンパーク

概要 : 小名浜港の夜景という大スクリーンに放たれる約1万発の創作花火!この感動と興奮は会場でしか味わえません。

<http://www.iwakihanabi.com/>

◇ 「御前崎みなと夏祭2015」

開催日 : 平成27年8月1日(土)

開催場所 : マリンパーク御前崎

概要 : 「御前崎の夏」の体験を通じて海の魅力や自然への敬意を共有するイベントとして毎年開催。市民ステージ、屋台(出店)、花火大会等を実施。

お問い合わせ : <http://www.omaezaki.gr.jp/> (御前崎市観光協会 HP)

◇ 「帆船〔海王丸〕御前崎寄港」

開催期間 : 平成27年8月14日(金)~18日(火)

開催場所 : 御前崎港中央埠頭岸壁

概要 : 航海訓練所所属帆船「海王丸」の御前崎寄港。
セイルドリル、一般公開等を実施。

お問い合わせ : <http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/> (御前崎市役所商工観光課)

◇ 「第13回男鹿日本海花火 Rhythm&Dance~世界の踊り~」

開催日時 : 平成27年8月14日(金) (花火打上開始19:30~終了予定21:00)

※延期の場合は8月15日(土)

開催場所 : OGAマリンパーク

概要 : 大曲の花火でも数々の受賞歴のある北日本花火興業が花火を手がけ、約1万発の花火が一貫したテーマ、オリジナリティーとストーリー性の高い演出のもと夜空を彩る。

主催者名 : 男鹿日本海花火実行委員会

お問い合わせ : 男鹿日本海花火実行委員会事務局(男鹿市観光商工課内) TEL 0185-24-9142

Webページ : <http://www.oganavi.com.hanabi/> (男鹿日本海花火公式ホームページ)

